

## 日本医療マネジメント学会 第19回長崎支部学術集会プログラム

A 会場 (4F)			
13:00	<b>開会式</b> 学術集会会長	JCHO 諫早総合病院 副院長	山口 広之
13:05	<b>特別講演①</b>	座長 JCHO 諫早総合病院 副院長	山口 広之
13:55	<p><b>「なぜいまインフラの維持管理が必要か！          ～インフラの安全・インフラの質～」</b></p> <p>長崎大学大学院工学研究科 システム科学部門教授・副学長          インフラ長寿命化センター長 松田 浩 先生</p>		
14:00	<b>一般演題 医療安全①</b>	座長 長崎大学病院 地域医療連携センター長	川崎 浩二
	A-1-1	持続点滴交換の基点となる時間の変更一点滴交換時看護師2名で薬液の確認を実施する取り組みー	長崎川棚医療センター 柴田理恵子
	A-1-2	当院における臨床工学部の医療安全管理への関わり～医療安全地域連携活動に初めて臨床工学技士が参加して～	佐世保中央病院 谷口 一俊
	A-1-3	SBARを活用した適切な情報伝達方法の教育ー良好なチームワークと安全文化の醸成を目指した取り組みー	長崎医療センター 小玉 美香
	A-1-4	カウントに滅菌した手術器械セット定数表を用いた効果	長崎県島原病院 高原 弥生
	A-1-5	リスクラウンド実施による危険予知への意識の向上	諫早総合病院 平野つぐみ
	A-1-6	当院におけるリハビリテーションを行う骨転移患者のリスク管理	長崎原爆病院 石丸 将久
14:48	<b>一般演題 医療安全②</b>	座長 市立大村市民病院 副看護部長	佐竹 康子
	A-2-1	在宅人工呼吸器導入における臨床工学技士の役割	佐世保中央病院 前田 博司
	A-2-2	当院リスクマネジメント部会における転倒転落の現状分析	諫早総合病院 清水 吾朗
	A-2-3	転倒転落発生時ラウンドチェックシートを用いたラウンドの実施から見えてきた課題	長崎原爆病院 澤谷 典子
	A-2-4	転倒転落アセスメントシートの見直し	長崎医療センター 前田絵里奈
	A-2-5	転倒転落防止に向けた取り組み	諫早総合病院 木下由紀子

15:28	<b>一般演題</b> <b>医療安全③・その他</b>	座長 長崎川棚医療センター 医療安全管理係長 柴田理恵子
	A-3-1 A病院におけるステロイド治療により血糖コントロールが悪化した患者の疾患や治療に対する認識と捉え方	長崎原爆諫早病院 五嶋亜維子
	A-3-2 静脈留置針の固定方法に関する実態調査	長崎原爆病院 上戸奈津希
	A-3-3 A病院手術室での手術部位感染防止に関する取り組み	諫早総合病院 野口 梓
	A-3-4 医療対話推進者として	佐世保中央病院 松瀬 和代
16:08	A-3-5 急性期病院における認知症サポートチームの身体抑制解除への取り組み	長崎みなとメディカルセンター 川原 隆
16:15	<b>特別講演②</b>	座長 JCHO 諫早総合病院 院長 長郷 国彦
	<b>「働き方改革時代の医療安全を考える」</b>	
	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 院長 独立行政法人 地域医療機能推進機構 東海北陸地区 理事 絹川 常郎 先生	
17:05	<b>シンポジウム</b> <b>連携を通して高める地域医療の質</b>	座長 長崎県島原病院 副院長 木下 明敏
	S-1 大腿骨頸部骨折連携パスの取り組みと成果～10年を経過して～	長崎労災病院 土肥 美奈
	S-2 地域医療連携でのあじさいネットの利用ー診療所での活用法ー	奥平外科医院 奥平 定之
	S-3 がん診療連携を通して高める地域医療の質ー当院における乳癌術後連携パスの現状からー	諫早総合病院 村岡 昌司
	S-4 地域で医療の質を高める方策と地域包括ケアシステムで果たすべき医療の役割	広瀬クリニック 廣瀬 弥幸
18:05	<b>閉会式</b> 次回世話人挨拶	長崎大学病院 地域医療連携センター長 川崎 浩二